

【10】 修得すべき知識能力

(2) 大学院

社会文化総合研究科

発達・教育臨床論コース

「履修モデルA」 発達臨床分野

健全と障害の境界領域の問題や、子育て支援・幼児虐待・家庭・保育・教育・福祉といった社会・文化的な状況と深く結びついた課題に対して、専門的な支援を提供するために必要な力量とスキルの獲得をめざします。臨床発達心理士の取得が可能です。

主要科目：発達臨床心理学

特長：発達の観点に即して人々の心理について理解する枠組みを提供します。生涯発達の観点、健全と障害を同じ枠組みでとらえるインクルーシブな観点などを重視します。また、受講者が経験している具体的な事例を持ち寄り、具体的な事例と理論を多様な視点から結びつけて考えます。

科目の目標：発達臨床心理に関する発達理論および、発達の困難の様々な状態像についての基本的で最新の知識を得ます。具体的な事例について、それらの理論の観点から整理し、発達の観点から見た状態像を査定し、対応するために必要な基本的な考え方を身につけます。

「履修モデルB」 学校教育分野

学力問題、生活指導問題、学校経営問題など、学校教育現場で生じる実践的な諸問題に対して、その原理的な問題把握力を養うとともに、実践的な応用力をめざします。専修免許状（社会科系）の取得が可能です。

主要科目：教育経営論

特長：教育課程を、実践過程のなかで動的に捉えます。すなわち、教育の計画-働きかけの実践-実践の評価-再計画という一連の流れにおいて捉え、それが教育的な働きかけの場面でダイナミックに適用されていることを理解します。

科目の目標：動的な教育課程について、その理論的な枠組みを理解します。その上で、実践の過程を把握し、具体的なプランや授業案などを読み解きながら、臨床場面の課題について考察できるようめざします。

「履修モデルC」 学校に関わる心理関係分野

学校教育に関わる心理教育アセスメント、カウンセリングおよび発達援助、教師・保護者および学校組織へのコンサルテーションなどへの心理教育的援助サービスに関わる知識とスキルの獲得をめざします。学校心理士の資格取得が可能です。

主要科目：学校心理学特講

特長：学校・教育に関わる心理（動機づけ、学校適応など）や学校心理学に関わる理論と実践（心理教育的アセスメント、カウンセリング、チーム援助、コンサルテーションなど）について、実際の学校における援助に活用できるように、学んでいきます。

科目の目標：学校心理士として活躍するために、学校心理学の基本的な考え方を理解し、学校現場における学校心理学の活用について学びます。

「履修モデルD」 生涯学習分野

日本および諸外国における生涯学習の思想、原理と実践的、臨床的な学習理論と、プログラミングの具体的なノウハウを学び、さらに高度なスキルの獲得をめざします。

主要科目：生涯学習論

特長：教室での座学だけでなく、隣接自治体やボランティアグループ、市民運動団体（NPO）の協力を得て、生涯学習の現場を参与観察し、意見交換をします。

科目の目標：公的社会教育の理念と法制、地域における達成について、一定の理解をもち、今後のあり方について、各自のビジョンが描けるようめざします。市民主体の学習を通じた問題解決能力の修得についても、実践的な理解を深めます。